

令和 7 年度圏域別取組状況について

1	秩父郡市医師会	……	1 頁
2	秩父郡市歯科医師会	……	4 頁
3	秩父郡市薬剤師会	……	5 頁
4	保険者協議会	……	6 頁
5	看護協会	……	7 頁
6	秩父市	……	8 頁
7	横瀬町	……	9 頁
8	皆野町	……	10 頁
9	長瀬町	……	11 頁
10	小鹿野町	……	12 頁
11	秩父消防本部	……	13 頁
12	埼玉県秩父保健所	……	14 頁

※御意見等がありましたら別紙回答書に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

令和 7 年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ① 秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制）、県特殊救急医療体制（SSN・SAN）に努めた。
 - ・休日診療所は、日曜・祝日 9 時から 17 時、執務医師 2 名体制、発熱者に対してはドライブスルー形式にて屋外で対応。
 - ・令和 7 年度はインフルエンザの流行に合わせて、特に一次救急体制を拡充。
 - ・令和 7 年度は全国植樹祭開催のための臨時救急体制設置。
 - ・第 73 回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会時における現場救急体制の確保。
 - ・秩父郡市救急告示病院連絡会の設置、運営。
- ② 救急電話相談（＃7119、＃8000）などの普及・啓発により救急医療機関の負担軽減、救急車の適正利用を推進。
- ③ 秩父地域夜間オンライン診療への協力、検証。
- ④ 地域健・検診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部 X 線読影、その他の健診業務）に努めた。また積極的に特定保健指導を行った。
 - ・令和 7 年度から新たに事業所健診を主催。
 - ・胸部 X 線読影システムを刷新し、診断サポートの充実を図る。
 - ・糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んだ。
- ⑤ 予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めた。
- ⑥ 予防接種健康被害調査委員会への参画。
- ⑦ COVID-19 後遺症外来の圏域内設置。
- ⑧ 令和 7 年度は百日咳流行のための緊急対応。
- ⑨ 生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症の発生・まん延時に医療を提供する医療措置協定に参画。
- ⑩ 大規模災害時の医療提供に備え、自治体等との連携強化を図るための研修会、訓練等へ参画。
 - ・災害時医療体制再構築のため、SNS を利用した連絡網を整備。
- ⑪ ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、並びにそれに伴う

会員医療機関への専攻医受け入れ体制確保。救急医療に関する事業。予防医療に関する事業。リハビリテーションに関する事業。)へ参画。

- ⑫ 1市4町の実務者と医師会役員が一堂に会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討するべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置。
- ⑬ 2040年問題に備え、医療と介護の連携を図るため1市4町、各訪問看護ステーションと共同で在宅医療提供事業を推進。
- ⑭ ちちぶ版在宅緩和医療体制を構築し、高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んだ。
 - ・ACP普及啓発事業に派遣する講師の人材バンクへ協力。
- ⑮ 介護認定二次審査会、障がい者自立支援審査会に多職種と連携しながら事業に取り組んだ。
- ⑯ 地域医療の将来を見据え地域医療連携推進法人制度の導入に向けた提言を行なった。
- ⑰ 秩父市立病院建設策定委員会に合わせて本会執行部で意見交換し、会長が委員会に臨んだ。
- ⑱ 秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをした。
 - ・少子化等の諸事情により、秩父看護専門学校の入学生募集停止のための「あり方検討委員会」を設置、協議。
- ⑲ 厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を推進。
 - ・令和7年度は希望事業所急増のため、労基署、県産保センターと協議、対応。
- ⑳ 学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員、父兄を対象にした講演会の実施や運動器検診に努めた。
- ㉑ 性教育、薬物乱用防止等の講座を開催。
- ㉒ 発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んだ。
- ㉓ 「秩父地域自殺予防対策連絡会」等と連携し、自殺防止対策に取り組んだ。
- ㉔ 患者およびその家族から医療・介護従事者への暴力、ハラスメント対策事業を展開。
- ㉕ 地域住民へのさまざまな健康啓蒙活動を、市民健康講座の他、ホームページ、YouTube、FMラジオを利用して行った。

②⑥ かかりつけ医機能報告制度に伴う勉強会の開催。

②⑦ 医療D X推進のための勉強会、展示会の開催。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父郡市歯科医師会

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
- 2、休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、口腔機能向上事業
 - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため一般向けパンフレット等の配布、講演会等の実施
 - ・災害時の口腔に対する周知、「お口の防災グッズ」の作成と配布
- 4、歯科健診事業
 - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・地元中小企業の歯科健診の実施
 - ・各地域で行われる健康まつり会場での歯科健診を実施
 - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 5、行政ならびに多職種との連携の推進
 - ・秩父市 大滝国民健康保険診療所への歯科医師の派遣
 - ・ちちぶ医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への委員派遣
 - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
 - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている
 - ・秩父保健所管内歯科口腔保健連携会議にて、秩父郡市内での歯科口腔保健推進に向けた話し合いを実施

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市薬剤師会

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1 救急医療

- ・ 二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・ 医師会による休日診療所 に対応した 休日の薬局開局
- ・ 小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局
- ・ #7119 の薬袋等への印刷による啓発

2 親と子の保健医療対策

- ・ 小中高等学校等における薬物乱用防止教室開催

3 在宅医療の推進

- ・ 薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・ 医療的ケア児の訪問薬剤管理指導
- ・ 医療材料、衛生材料の備蓄管理
- ・ 多職種との連携会実施（在宅地域ケア勉強会）

4 生活習慣病対策

- ・ 生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・ ポリファーマシー対策事業への参画
- ・ 管理栄養士の訪問栄養食事指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養、褥瘡などの防止の成果）
- ・ 栄養士だより年3回発行
- ・ チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会年2回）
- ・ 薬剤師と管理栄養士の連携強化
- ・ 私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・ 地域ケア会議への参画
- ・ ちちぶ医療協議会（救急医療、予防リハビリ医療に関する事業）への参画
- ・ キッチンカーで出向いてのサロン活動
- ・ 地域包括と連携していきいきサロン（小鹿野町）での講話

5 精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・ 小中高等学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・ 危険ドラッグ対策
- ・ オーバードーズ防止対策
- ・ 自殺防止対策のため店頭啓発
- ・ オレンジカフェの開催

6 健康危機管理体制の整備充実

- ・ 感染症法に基づく埼玉県との医療措置協定の締結
- ・ 医療用医薬品の安定供給のための医薬品情報共有システムの導入

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 保険者協議会（皆野町町民生活課）

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

生活習慣病対策の推進

■生活習慣病の予防

特定健診受診率向上事業の実施

- 人工知能を活用して未受診者の特性を分析し、その特性に基づいた受診勧奨を実施する。年3回。
- 通院中の未受診者対策として、ナッジ理論を取り入れた医師勧奨チラシを作成し、受診時にかかりつけ医から受診勧奨していただくよう協力を依頼。
- 通院中で特定健診検査項目と同様の検査を実施している方を対象に「診療情報提供事業（みなし健診）」を実施。レセプトデータを活用し、診療行為コードから血液検査の実施状況に応じて対象者を絞り込み、情報提供を依頼。
- 3年連続受診キャンペーンとして対象者にクオカード（1,000円）をプレゼントし、連続受診者の割合向上を図った。
- ORIZAPと連携し、ICTを活用したオンライン個別保健指導（特定保健指導）を実施。対象者に合わせた食事管理や運動習慣の定着などを行う。
- 集団検診の実施（年間3会場）

■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

- 当町の長期入院の契機となった傷病の第1位は大腿骨頸部骨折であり、医療費・介護費を増大させる要因となっている。このことから、健康寿命の延伸を目的に、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として「転倒骨折予防」に取り組んでいる。具体的には、後期高齢者医療保険制度加入者の健診結果・レセプトデータ過去5年分を分析し、骨粗鬆症予防対象者、転倒ハイリスク者を抽出。被保険者の健康課題に合わせて骨密度検査の受診勧奨や、転倒予防のための保健指導を実施した。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 看護協会（秩父市立病院）

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【看護・介護人材の確保推進】

1, 埼玉県看護協会

- ・ 看護師、准看護師、保健師、助産師で就業していない人の届出制度
- ・ 進路相談

将来看護師の道に進みたい学生や社会人を対象として実施

- ・ ふれあい看護体験（秩父市立病院）

高校生対象に病院見学や看護実習、胸骨圧迫やAED体験を実施

- ・ 再就業技術講習会（秩父市立病院）

潜在看護師に対して、最近の看護の知識や技術を体験し再就業のステップアップとなるように講演会を実施

2, 埼玉県教育局推進「夢と豊かな心をはぐくむ講演会授業」から、埼玉県看護協会「看護の出前授業」として実施

- ・ 市内小学校の1校にて、6年生25名が参加
- ・ 「いのちの大切さ」「看護師の仕事」等に対して講演会を実施

（看護師の仕事紹介、看護師絵の道の説明のほか、聴診器やパルスオキシメーターを使用し「いのち」を実感してもらう）

3, 秩父地域看護師会

- ・ 定期的に会議を開催し、情報交換を実施
- ・ 看護職・介護士を対象とした研修会を実施
10月「災害時の備え」 3月「認知症の理解と事例で学ぶ認知症ケア」
- ・ 看護師確保に関する署名活動の実施

その他

- ・ 秩父看護専門学校とは、病院実習の受け入れ相談や調整を行った
- ・ 秩父市立病院 副看護師長会による市民向け講座を開催
「人生会議の進め方」

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父市

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1 救急医療（小児救急を含む）

①医療従事者相互派遣による救急医療の負担軽減や診療交流の推進

・国保町立小鹿野中央病院に派遣要請を行い、救急医療に従事する看護師の確保を図った。

②救急医療等に従事する医師確保対策の推進

・ちちぶ医療協議会の取組として、公立の二次救急輪番病院に対して財政支援、また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設のため秩父郡市薬剤師会に対して財政支援を行い、病院勤務医・スタッフの負担軽減、医療スタッフの増員、患者の利便性の向上などを図った。

・大学医局へ非常勤医師の派遣要請等を行い、救急医療に従事する医師の確保を図った。

③看護人材の確保対策の推進

・令和4年度実施の看護師確保策検討プロジェクトの成果を実行し、看護師確保に努めた。

④夜間における二次救急医療の負担軽減や患者の利便性向上

・ちちぶ医療協議会の取組として、夜間オンライン診療窓口を開設し、二次救急輪番病院の負担軽減や患者の利便性の向上を図った。

2 親と子の保健医療対策

①地域の医師会、公立病院、行政の協力による産科医療機関の支援

・埼玉医科大学病院・埼玉医科大学総合医療センターから産科医師3名、秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

②妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

・産婦健康診査では、出産後1か月での助成に加え、出産後2週間の時期の産婦健診を助成し、経済的支援と産後早期に支援が必要な産婦を把握し支援を行った。

・こども家庭センター母子保健機能として、母子支援判定会議を開催し、妊娠届け出アンケートより支援が必要な妊産婦について把握し、児童福祉と連携が必要なケースについては児童福祉担当が開催する合同会議で情報の共有を図る等、チームで検討する体制を整えた。

3 在宅医療の推進

①看護・介護人材の確保対策の推進

・介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス(緩和型)従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

4 生活習慣病対策の推進

①生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

・市独自の健康管理アプリを活用し、若い世代からの健康活動の習慣化による生活習慣病やがんの予防、検診受診率の向上を図り、健康寿命の延伸、医療・介護費の抑制を図っている。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

横 瀬 町

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

◎救急医療（小児救急を含む）

（１）救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

- ・ちちぶ医療協議会にて導入した夜間オンライン診療について町民に周知を図り二次救急病院の負担軽減を図った。

◎親と子の保健医療対策

（１）妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

- ・出産後から就学前までの切れ目のない健康診査実施体制を整備するため、法定健診に加え１か月児健診の補助事業を開始。

○R7年度補助実績：１６名（2/10現在）

（２）児童虐待予防対策の推進

- ・R6年度設置した横瀬町こども家庭センターに社会福祉士を配置し、より母子保健機能と児童福祉機能の連携を図り、児童虐待予防対策の拡充を図った。

○専門職配置状況：保健師４名、社会福祉士１名

◎生活習慣病対策の推進

（１）生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

- ・健康診査受診率向上のため、従来の受診勧奨に加えR7年度より受診歴データ（過去５年間分）をAIにより分析し、対象者に合わせた受診案内を送付。

前年度の同時期と比較して７％程度受診率が向上した。

○R7年度送付枚数：６１５人

（２）歯科口腔保健対策の推進

- ・歯周病検診の対象年齢の引き下げ（４０歳以上の男女から２０歳以上の男女）
- ・節目年齢（２０歳から１０歳刻み）の対象者の検診料無料化を実施。

○R6年度受診者数：６名

○R7年度受診見込：５５名

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 皆野町

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実・強化

・安心安全な出産支援と経済的負担軽減の充実

遠方の分娩取扱施設等で出産する必要がある妊婦に対する交通費及び宿泊費の助成を開始した他、産婦健診の助成を1回から2回へ拡充した。

■児童虐待予防対策の推進

・こども家庭センターの設置（R6.3.15）

母子保健機能と児童福祉機能が連携・協働し、妊娠期からの児童虐待を防止するため、健康こども課内に設置した。

【在宅医療の推進】1市4町定住自立圏構想に基づき取り組んでいる。

- ・高齢者ゴミ出し支援、移動スーパー事業をはじめ、介護予防体操を地域14か所にて住民主体で実施。互いに支え合うみ～なネットワーク体制の構築を強化。

【生活習慣病対策の推進】

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

・ウォーキング事業の推進

RIZAP講師による現役世代へ向けたセミナーの実施や、歩数管理アプリを使用した町ウォーキングロード歩くインセンティブ事業を行った。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■自殺防止対策の推進

・ゲートキーパー研修会の開催

コロナ禍以降実施できていなかった事業を再開。今年度は、ここ数年で新人が増えた町職員を対象に行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

■ポストコロナにおける新興感染症発生・まん延時に備えた健康危機管理体制の強化

・新型インフルエンザ等対策行動計画改定

新型コロナウイルス対応を踏まえ、今後の感染症危機対応に生かすため、専門家委員のご協力のもと、1市4町が共同で作成。R8年4月改定予定。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

長瀬町

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■親と子の保健医療対策

○妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

子育て世代包括支援センター、子育て支援拠点である「多世代ふれ愛ベース長瀬」で、母子保健事業、子育て支援事業、子育て相談事業等を一体的に実施した。、「子育てに優しい町・長瀬」をアピールし、子育てに孤独を感じないよう、子育て世代はもちろん、地域の人同士の交流を目的として、第2回子育て応援フェスタを開催した。令和8年4月に「こども家庭センター」を設置予定である。

○児童虐待予防対策、思春期の健康保持の推進

児童虐待防止対策として、「地域のこども達を地域で育てる」を実現するために、「笑顔広がる心つなぐ講座」として、子育て中の養育者、子育てを見守っている地域の人達、また地域で子ども達を支援している支援者などに視点を当て、事業を展開した。また、年長児、小学生1～6年生に対し、学年に対応した性教育「こどものための講座」を、学校の養護教諭、地域の助産師、健康こども課で協力して実施した。

■生活習慣病対策の推進

○生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

特定健診やがん検診の受診率の向上を目指し、実施方法の検討や受診券の郵送を実施したところ、特に大腸がん検診の受診者数の増加につながった。重症化予防としては、CKDの数値のみなおしをして通知、受診勧奨を行った。

○データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

第3期の計画で分析した健康課題に取り組むため、高血圧対策、糖尿病対策の実施と、健康増進から介護予防までを一体的に実施している。公民館との共催事業を継続して実施し、新規事業として、介護予防と運動習慣の確保のための「みんなで朝活」事業を実施したところ、他の事業には参加されない年齢層の方や男性の参加があり好評であった。

○歯科口腔保健対策の推進

歯の健康維持・向上の取組として、特定健診の集団検診時の歯科健診の実施、子育てフェアの際の歯科保健コーナーを設置したり、乳幼児健診時に妊婦の歯科健診を行った。8年度から歯周病検診を実施する予定。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【親と子の保健医療対策】

1 こども家庭センターを設置し、相談拠点を充実

妊娠期から切れ目のない相談支援を実施すると共に、ファミリー面談（本人・夫・こども等）を行い、家族支援の充実を図っている。母子保健と児童福祉の機能を一体化し、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへ切れ目のない相談支援として、妊娠届の段階から相談を受け、個別のサポートプランを作成し、必要な支援へつなぐマネジメントを実施。地域のつながりが希薄化する中で高まる孤立感や負担感を軽減するため、妊娠期から子育て期まで継続的に寄り添い、保育施設や子育て支援センターと連携しながら包括的な支援体制を構築している。

【在宅医療の推進】

1 地域包括ケアシステムの連携と充実

保健・医療・福祉が「個々を支える」「皆で考える」「つなげる」隙間を埋めていく支援を目指し、「地域ケア会議」「包括ケア会議」「自立支援型地域ケア会議」等により人生の最期まで住み慣れた場所で自分らしい生活が出来るよう、協働して在宅医療を推進している。「私の療養手帳」の発行数は令和7年度は22冊（令和8年1月末現在）であり、在宅療養の推進に活用されている。

【生活習慣病対策の推進】

1 いきいきおがの健康ポイント2025の実施

20歳以上の町民を対象に、特定健診やがん検診受検での【必須ポイント】と保健課主催の教室や講演会参加や運動チェックカレンダー利用での【参加ポイント】の合計ポイントに応じてインセンティブとして賞品を贈呈。

2 糖尿病重症化予防連携事業の実施（町立病院連携）

糖尿病重症化予防のために町立病院と連携会議を実施、メンバーは医師・看護師・検査技師・管理栄養士・事務職、保健課保健師・管理栄養士で構成されている。会議では、関わりのある糖尿病患者の抽出並びにケース検討、2泊3日の教育入院プログラムについて、運用を開始し実績をあげている。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

1 こころの相談事業と人材育成の実施

【健康危機管理体制の整備充実】

1 高齢者見守りネットワークの推進

2 ポストコロナにおける共同避難所開設訓練の実施

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父消防本部

令和7年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1 救急自動車、救急自動車積載資器材の整備を図るとともに、各種認定救急救命士や新規救急救命士の要請及び救急救命士の再教育を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。

※令和7年度に実施した救急救命士養成の実習及び講習等は下記のとおり。

- ① 気管挿管病院実習（熊谷総合病院）2名
- ② ビデオ喉頭鏡病院実習（熊谷総合病院）2名
- ③ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）8名
- ④ 救急救命士養成研修（救急救命東京研修所養成課程）2名
- ⑤ 薬剤投与病院実習（深谷赤十字病院）2名
- ⑥ 管内救急告示病院、深谷赤十字病院で病院実習による再教育を行う。
- ⑦ 埼玉県立循環器呼吸器病センター循環器科医師による救急講演会を行う。

2 一般市民、小学生、中学生、高校生及び各種団体への救急講習、応急手当普及員講習を積極的に行い、応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。

3 秩父郡市医師会と連携し初期救急医療の調整及び二次救急輪番制病院（秩父市立病院・皆野病院）と連携し二次救急医療の調整、当番日の割り振りを行う。

4 救急車の適正利用及び熱中症予防に関する広報を目的として、秩父広域市町村圏組合公式X（旧ツイッター）への投稿、ちちぶFMラジオへの出演、救急講習時における広報及びポスター配布を実施する。

また、救急医療週間においては、デジタルサイネージを活用し、救急車の適正利用、＃7119及び夜間オンライン診療の利用促進、予防救急の啓発活動を行う（秩父広域管内12か所で実施）。

5 令和7年10月1日から、全国一斉にマイナ救急を開始する。あわせて、マイナ救急の普及啓発を行う。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 埼玉県秩父保健所

令和7年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

・広報物を配布等することにより、救急電話相談(＃7119)の周知・啓発に取り組んだ。

【親と子の保健医療対策】

■児童虐待予防対策の推進

・子ども達の健やかな成長のために、妊娠期からの早期の支援が適切に行われるよう、市町等を対象とした会議及び研修会を開催した。

■思春期の健康保持の増進

・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員等に対して、薬物依存に関する研修会を開催し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

・秩父保健所管内地域・職域連携推進会議を開催し、地域保健と職域保健の連携を図り、生涯を通じた健康づくりの推進に取り組んだ。

・秩父郡市栄養士会と協力し、地域住民が生活習慣病予防のための食生活改善について学ぶ場を提供した。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のため会議や研修会を実施し、関係機関との連携体制の強化に努めた。

・ひきこもりケースレビューや管内市町巡回型事例検討会を実施し、支援者が支援方針等について検討する場を提供した。

■自殺防止対策の推進

・「語らいのつどい」を6回開催し、自死遺族等への支援に努めた。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

・管内アルコール依存症自助グループ(AA)や断酒会との連携に努めた。AAが主催するセミナーにゲストスピーカーとして参加し、保健所の取組について周知を行った。

・薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施した。関係団体、管内学校に啓発資材を配布した。

【健康危機管理体制の整備充実】

■ポストコロナにおける新興感染症発生・まん延時に備えた健康危機管理体制の強化

・令和7年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。

・管内高齢者施設等を対象に感染対策研修会を開催した。

・病院、市町及び保健所による連携会議を開催し、新興感染症等発生に備えたネットワークの強化に努めた。会議においては感染症発生状況や最近のトピックスを共有するとともに、院内感染対策に係る専門家による研修会を開催し最新知識を共有した。

・秩父保健所健康危機対処計画(感染症編)を改定した。秩父市立病院及び院内感染対策に係る専門家の協力を得て、同計画に基づく患者搬送訓練を実施した。

■平時における感染症対策の充実

・感染症発生動向調査による的確な状況把握に努め、管内における百日咳拡大が県内で突出していること

を探知した。秩父郡市医師会との適切な情報共有や市町と連携した普及啓発により、拡大防止と重症者発生予防に努めた。

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の災害時対策の推進

- ・医療機器依存度の高い難病患者等に対して、災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。
- ・難病対策地域協議会や支援従事者研修会を開催し、災害時等の危機管理体制の整備に努めた。また、関係者に対し、同行訪問や支援会議の中で、災害時における支援の必要性を伝えた。